

エンパワーするNGO



大阪YWCA

2

2026

<http://osaka.ywca.or.jp>

YWCA (Young Women's Christian Association)は、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。

「+1年」…このクニはどこに

歴史を生きる・歴史に生きる
ザイニチから見たこの日本

オクアンヒョン
呉光現



娘と共に済州四三事件で犠牲になった叔父の墓にて

「2025年から+1年」を年初に思いました。私が生まれ、生きてきたこの日本が生きつらくなつて、在日外国人である私たちはこの日本で生きていけるのかという思いです。

現在、「ネットで」「街中で」、そして「選挙や国会の場で」、一部の排外主義者だけでなく公職者からもこれでもかこれでもかと襲いかかってくる外国人排除の言動。多くの外国人ルーツの人がこれに怯えています。

昨年は様々な節目の年でした。よく目にしたのは「戦後80年」と「昭和100年」です。が、在日2世の私からすると「朝鮮を植民地にしていった」「韓国保護条約から120年」であり、『朝鮮の植民地支配の責任を解決せずに締結された「日韓条約から60年」』、そして『法違反をもとめせず外登法指紋押捺拒否行動で日本社会での共生を訴えた「外登法改正の闘いから40年」』でした。そして関東大震災から102年、山口県の「長生炭鉱の水非常」から83年です。これらは節目の時だからではなくこの国で起こって、解決されていない事です。過去の歴史だけではありません、未

だに課題が続いています。

私は大学に入つて初めて私たちが在日韓国人が不当な扱いを受け、差別されていることを知りました。そして私は行動を起こしました。まず日本名を捨てて本名を名乗りました。そこから韓国の歴史を学び、日本の歴史を学び、自分たちのことを学びました。

それから50年、在日の権利は少しずつですが向上していきました。指紋制度がなくなり、公務員や大企業への就職も可能になりました。頑張れば少しずつ良くなつていくとの実感がありました。私の子どもたちは本名だけで育ち、在日韓国人として生きています。

しかし2009年、突然にヘイトスピーチが私たちを襲ってきました。「良い韓国人も悪い韓国人も殺せ」「鶴橋大虐殺をしますよ」と直視すらできないことが目の前でなされたのです。しかしこれは日本では刑罰の対象にはなりません。差別を禁止する法律はないからです。2026年の現在、総理大臣からして「奈良の鹿を外国人が虐待している」とフェイク発言をします。選挙で躍進した参政党は平気で「日本人ファースト」と外国人の排

除を唱えています。堂々と吐かれる差別排除の言説は「誰もが少数者を差別してもいい」と思わせることになりました。

しかし希望を持ちたいと願っています。この写真は済州で娘と写した1枚です。80年近い前に済州人が暴力で3万人近く虐殺された済州四三事件が今は堂々と語ることができ、真相も明らかになりつつあります。大統領が済州で公式に謝罪もしました。それは歴史を過去のものとせず今を生きる人が果敢に取組んできたからです。これは日本にも大きな教訓を与えていると思います。どんな厳しい状況でも希望を棄てずに歩んでいく、そしてそれは多くの人たちと共に進む作業でこそ成しえます。

向かい風でも共に歩みましょう。

お く あ ん ひ ょ ん

聖公会生野センター総主事。
教会は在日大韓基督教会の信徒。
済州島出身の両親から2世として大阪で生まれて大阪で育つ。
在日韓国人ではなく「在阪済州人」と自称している。「地域と共に」を大切なスローガンにして生野地域で人権・福祉の働きをすると共にルーツの済州四三事件の真相解明の運動を日本でおこなっている。

映画でみる戦後80年

昨年、2025年は戦後80年にあたり、戦争体験者が高齢化、あるいは鬼籍に入っていく中、戦争体験を次世代にどう語り次いでいくかがひとつのテーマになった。映画界の取り組みを紹介したい。

沖縄を舞台にした2作品「宝島」「木の上の軍隊」が

上映され、前者は若手実力俳優が多数出演した群像劇で、彼らを目当てに映画館に足を運んだ若者から「初めて沖縄地上戦やコザ騒動について知った」という声が多く聞かれた。一見すると暴力シーンが多いが、沖縄に古くから伝わることば「命こそ宝」（ぬちどうたから）を示唆する結末になっている。

後者は、日本兵約2000人島民約1500人が犠牲と

なった激戦地伊江島で、敗戦を知らずにガジュマルの木の上で生き延びた日本兵の実話が基になっている。作者の井上ひさしは、戦後2年間木の上で命を長らえた上官と新兵が、二人だけでも関わらず軍隊での関係性と心情で生き続けた姿をユーモアを交えて表現していた。

シネコンで上映されなかった作品に「黒川の女たち」と「豹変と沈黙」がある。この2作品は、息子世代が親世代の加害性を明らかにし被害者に謝罪する過程を描いていること。ソ連兵への性接待と中国での慰安所という戦時下の女性への性加害を取り上げたという二つの共通点がある。

敗戦直後、岐阜黒川の満蒙開拓団が、ソ連軍へ性接待のために未婚女性15人を差し出

し帰国した。地元には「乙女の碑」とだけぎざまれた小さな碑がたてられた。2018年に第4代開拓団遺族会会長が「開拓団幹部が女性たちに性接待を強いた」と明記した碑文を建立するまでは、「乙女の碑」が何のために建てられたのか地元でも語るのとはタブーだった。

「黒川の女たち」は老境に入った乙女らが性被害の体験を証言することで自ら尊厳を回復していく過程と、遺族会会長が親の加害性を認め謝罪し、彼女らの名誉回復のために奔走する姿を描いている。性接待そのものと帰国後に受けた誹謗中傷のPTSDで表情を失い、人を寄せ付けなかった女性が証言することで自分の感情を取り戻し、家族の理解を得て癒されていくプ

ロセスは感動的だった。

「豹変と沈黙」は一兵卒たちが残した戦中日記をもとに、南京攻略から沖縄戦へと続く中、どこにでもいる良き夫、父親だった日本人が戦争兵器に仕立てあげられていく姿―豹変―と戦後の彼らの沈黙を表している。監督が「当事者たちが存命中は、たぶん日の目を浴びなかった」と語っている戦中日記を素材にしたことで、今後の体験の継承を考える上で示唆に富んだ作品である。

そして最後に戦争映画では

ないが、PFAS汚染を取り上げた「ウナイ」を紹介したい。この映画は米軍基地がある沖縄は今も生命を脅かされる戦時下にあることと、反PFASで繋がった世界中の「ウナイ」の姿を描いている。「支えあい、力をあわせ姉妹のように寄り添って一緒に歩む女性たちのことを、たったひとことで表すことばが沖縄にはある。それはウナイ」。希望と勇気を得る映画である。

（会員 辻川さとみ）



ぶどうの木

人と出会うこと

233

YWCAでお世話になり、約半年が経ちました。この短期間を振り返っても、人との出会い・再会・繋がりに恵まれていたと実感しています。人との巡り合わせは、人知を超えてるものですが、しかし、与えられた人との出合いをどう捉えるかは自分の姿勢にかかっています。尊敬できる人との出合いは、人生を驚くほど豊かにしてくれます。受けた影響ひとつひとつを大切に持ち続けられる人になりたいと思います。一方で、私にとっては宇宙人であるかのように感じる人との出会いもあります。理解が難しい宇宙人を宇宙人として終わらせるのか、それとも私の中にも宇宙人がいると気づくことで、奥深い人になっていくのか、問われているように感じます。全ての人との出会いが恵みであり学びとなることに感謝をしながら、これからもYWCAで歩み続けたいと願っています。

（職員 吉年 唯音）

女性視点で防災始めよう

～今から、ここから、ふだんから～

地震や台風、豪雨など、いつ起こるかわからない災害。「防災は大事」と分かっているけど、どこか他人事になっていないでしょうか。実は、防災は日常生活の延長線上にあります。そして、女性の視点を取り入れることで、より現実的で続けやすい防災が見えてきます。

1月23日、大阪YWCA会員でもあり堺市立男女共同参画センター館長の金香百合さんを迎え、女性視点の防災について考える講演会を千里で行いました。女性視点の防災のポイント、生活者の視点であり、少数者の視点を取り入れられること。災害時、多くの避難所や支援体制は「平均的な大人」を基準に考えられてきました。そのため、普



講演会の様子



参加者同士で話し合い

段から弱い立場にある人が特に災害の影響を受けやすくなると言われています。生理や妊娠、産後などの女性特有の体調変化や着替えや下着、衛生用品の不足、夜間のトイレや避難所での防犯面の不安など、女性だからこそ直面する困りごとがあります。これらは「わがまま」ではなく、命と健康を守るために必要な視点です。性別のちがいに配慮した防災・災害対応として、更衣室やプライバシーの確保や性別に配慮した避難所運営を行うためにも、普段から女性も男性も防災意識を高め性別によって役割を固定することなく女性もリーダーシップを発揮することが大切です。

そして、防災が日常生活の延長線上にあるといわれるよ

うに、普段からの心構え、準備、コミュニケーションは何よりも大切です。例えば、被災直後に必要な一次持ち出し品と避難後余裕ができてから必要になる二次持ち出し品の確認。室内では避難経路の確保や転倒・落下の防止、室外ではハザードマップや避難先の確認等、普段からできることはいくつかではなく今すぐやるべきです。講演会では、普

段から靴の中に入れておくといく具体的な物を確認するお話もありました。防災は特別なことではなく、自分の生活を見つめ、自分を大切にするところから始まることを学びました。まずは自身が健康で幸せであること、そのウェルビーイングの視点がすべての人にやさしい防災につながります。

(文責 編集部)

Books

編集部文庫

ドキュメント『沖縄戦の図』全14部

丸木位里と丸木俊が描いた〈いのち〉の叙事詩

河邑厚徳 著 岩波書店

沖縄戦が教えた真理「命どう宝」(命こそ宝)に魂が震えた丸木夫妻が描いた『沖縄戦の図』全14部。その制作過程のドキュメンタリー映画を監督自らが活字化。

『沖縄戦の図』全14部が収蔵されている佐喜眞美術館。その大展示室の壁にかかる巨大な絵の前で、取材で訪れた俳優は言葉を失い涙を流し続けた。その絵には「ありったけの地獄を詰め込んだ」と言われる沖縄戦の様相が描かれている。海を埋め尽くすアメリカ軍艦。渡嘉敷島での集団自決。終戦後に日本兵が住民を虐殺した久米島の虐殺、那覇への無差別空襲。画面いっぱいに125人の人物が描き込まれ、死者たちのポリフォニーが響き渡る。



画面中央で前をまっすぐ見つめる3人の子どもたち。この絵に描かれている人物には誰も目が入っていないが、この子どもたちには目が描かれている。そして問いかける。なぜこんなことが起きたのかと。私たちはその問いに答えることができるだろうか。

「台湾有事は日本有事、日米同盟の有事でもある」と発言した安倍元首相の発言をそのまま踏襲した高市首相。そんな中南北諸島の軍事要塞化は加速していく。「地上戦の悲劇を忘れることがない沖縄は近づく戦争の脅威にカナリアのように警鐘を鳴らす」と著者はあとがきに記す。

聖書の言葉

わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。

(ヨハネ13章34節B)



未来へ—— 安心を創る

FUJIKI 藤木工務店

大阪本店 〒541-0051 大阪市中央区備後町1-7-10
二ツセイ備後町ビル1階
TEL06-4964-8700

大阪YWCA大宮保育園

ひとりひとりをたいせつに
どの子も神様の前では等しく愛される存在

社会福祉法人 大阪キリスト教女子青年福祉会



大阪YWCA大宮保育園 本部
大阪市大宮5丁目7-15
TEL06-6955-5931

大阪YWCA大宮保育園 分園
(ウエストリア)
大阪市大宮5丁目3-31

小規模保育園事業A型
大阪YWCAこひつじほーむ
大阪市大宮4-23-18 2F・3F 大宮1階



クリスマスバザー報告



12月6日、梅田本館にてクリスマスバザーを開催しました。数日前から「今年のバザーはいつですか?」「案内チラシをもらえますか?」とのお問い合わせをいただき、また当日には何時間も前から並ばれる方もいらっしゃいました。「毎年楽しみにしています」「沢山買いました」「思う存分買いたい物ができて楽しい!」とお声掛けもいただきました。会員、ボランティアのお働きのおかげで、事故なく安全に、多くの方々に楽しんでいただけ

(職員 坂東 暁子)

大阪YWCA専門学校 2025年度秋期

5名の留学生に奨学金を授与しました



グエン タン ダット
ベトナム、25歳

【大阪YWCA奨学金】

私は昔からアニメや日本の歴史や文化が好きで、実際に日本で生活しながら深く学びたいと思い留学を決意しました。将来は日本の企業で働き、日本で学んだ知識や経験を活かしながら社会に貢献できる人になりたいです。今回奨学金を頂き、大変光栄に思うと同時に心から感謝しております。



バヤルツォグト アナラ
エルデネ
モンゴル、24歳

【大阪YWCA奨学金】

私の夢は学んだ専門知識を生かして、たくさんのかわいい子どもたちの先生になることで、生徒たちに信頼され尊敬される先生になりたいです。奨学金を受け取った時はとてもうれしくて、いつも応援してくれる先生方にこの機会をいただいたことを本当に感謝しました。これからももっと努力して私を信じてくれた先生方の期待に背かないようにしたいと思います。



ムンフトオル サランガ
モンゴル、24歳

【仙台宮城野奨学金】

私の将来の夢はモンゴルと日本、そして世界を繋ぐ観光の専門家になることです。ツアーガイドや空港での観光案内スタッフとして働き、訪日外国人に日本の魅力を伝えられるとともに自国モンゴルへの関心も高められるような存在になりたいです。この度は奨学金をいただき本当にありがとうございます。これからも目標に向かってもっと頑張っていきたいと思っています。



アヤーン モハマド
パキスタン、19歳

【仙台宮城野奨学金】

日本の文化が大好きでITの勉強をしたいから日本にきました。将来はゲームの会社で働きたいです。奨学金をうけることができて本当にうれしく光栄です。ご支援してくださった先生方、学校の皆さま、心より感謝いたします。



ヴ ヴァン ティン アン
ベトナム、21歳

【鈴木保奨学金】

高校の時、日本でサックスを演奏するために日本に来る機会がありました。その時は日本の景色や雰囲気が印象に残りました。その経験から将来留学したいと思うようになりました。この度は奨学金をいただき心より感謝しております。学費の負担が大きく不安もありましたが、奨学金を頂いたことで大きな支えになりました。期待に応えられるように頑張ります。

11月運営委員会報告

【報告】▼財務委員会 梅田会館

LED化工事、2階学生用Wi-Fi

環境整備工事予定 ▼梅田会館

部委員会 10/25(土) 憲法カフ

エ開催 ▼千里委員会 10/25

(土) 千里バザー実施、目標達成

【協議】①クリスマスバザー実

施詳細検討、協議②ピースフェ

スティバル講師、日程決定報告、

実施詳細検討

12月運営委員会報告

【報告】▼女性エンパワメント

部 Rise Up! School Visit (中高

生向けの包括的性教育) 企画運

営ユース募集継続中 ▼東日本

大震災被災者支援チーム わい

わいサポート奨学金受給者決定、

授与式予定

【協議】①クリスマスバザーふ

りかえり②3/7(土) 定期会

員集会の標語・礼拝奨励者・進

行、および集会終了後のピース

フェスティバル内容詳細協議

訃報

会員 堀河 昌子さん

12月28日逝去(85歳)

ご協力ありがとうございました

賛助費

植原 昭子 高橋 浩二 松下 起子

森垣友二郎

【会員維持費】

荒木 慧子 小八木晴代

【寄付】

梅田 一般財団法人 中山文甫会館

【クリスマス献金】

荒木 慧子 有田 悦子 池田 洋子

伊藤 景子 上野 康子 大杉美耶子

加藤 康子 熊田多美子 西条 哲

坂上 信子 笹部 真樹 鹿野 幸枝

篠田 茜 少徳 充子 末吉佳世子

関根 久子 芹野 恵美 高橋 和子

瀧本 雅子 竹内 和子 谷 佐代子

辻 加代 永井 淑子 中島理依子

中山 光世 中山ゆかり 原 紀子

【募金】

春本美恵子 広瀬 圭子 藤井 保男

藤岡美智子 古河 順子 帆足 文子

松下 起子 松田 慶子 村川 京子

森垣 房子 森垣友二郎 山高万壽子

山東 史子 吉田 曉美 渡辺 成子

日本基督教団 豊中教会

日本基督教団 都島教会

匿名 8件

【その他】

家本 陽一 鹿野 憲一

中津 豊子・陽子

白川 啓子

㈱アドワン

コスモ建物管理㈱

㈱プランニングキュービック

【募金】

21口 611、639円